

震災関連死 認定指針を



比例近畿
自民・谷氏

11日に発生3カ月を迎える東日本大震災の被災地では、長引く避難生活で「震災関連死」が深刻化している。自民党の谷公一衆院議員(59)は9日の衆院東日本大震災復興特別委員会で、震災関連死の認定に「国がガイドラインを作るべきだ」と主張した。

谷氏は阪神・淡路大震災では900人を超える震災関連死があると説明。市町村が設けた医師や弁護士らによる第三者機関で認定する手法は「自治体機能が著しく低下している今回の被災地にはそぐわない」と指摘した。

谷氏がさらに「県が一括して(認定を行なうなど、工夫の余地はある」と述べると、片山善博総務相は「県が代行し、国が応援することが望ましい」と理解を示した。谷氏は関係大臣間の連携と迅速な対応を求めた。

(山崎史記子)

永田町から